

THE JOURNAL OF OHARA INSTITUTE
FOR SOCIAL RESEARCH

No. 687 January 2016

**Special Issue: The Current State and Future Directions of Research on
Forced Mobilization of Koreans in the Colonial period (2)**
Forced Labor of Koreans in Nagasaki TAKAZANE Yasunori
Korean Forced Labor and Japanese Corporate Sexual Slavery in Hokkaido
..... KIM Wooki
Critical Studies of the Labors Shortage Theory and
the Labors Fulfillment Theory on Korean Forced Mobilization Research
..... CHONG Ujong

Research Note
Homelessness in Metro Manila AOKI Hideo

Book Reviews
TACHIBANA Yuichi, *The Truth of Concealed Woman Rice Riot (Kome-Sodo)*
..... ISHIZAKA Etsuo
MIYAJIMA Takashi, *Educating Foreign Children in Japan*
..... IKEGAMI Shigehiro

Bibliography of Publication on Labour and Social Issues
..... Ohara Institute for Social Research

Monthly Research Meeting

OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

4342, Aiharamachi, Machida-shi, Tokyo, 194-0298, Japan
web site: <http://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/>
e-mail: oharains@adm.hosei.ac.jp

編集(兼)発行人
法政大学大原社会問題研究所
〒194-0298 東京都町田市相原町4342 TEL 042(783)2305~7

定価1,000円(本体926円)
年間購読 12,000円(税込)

大原社会問題研究所雑誌

六八七号

【特集】朝鮮人強制連行研究の成果と課題

「戦後70年」の現在から考える(2)

二〇一六年一月

大原社会問題研究所雑誌

687 2016.1

【特集】朝鮮人強制連行研究の成果と課題——「戦後70年」の現在から考える(2)

長崎と朝鮮人強制連行——調査研究の成果と課題 高實康稔 1
北海道における朝鮮人強制連行・強制労働と企業「慰安所」
金優綺 15
朝鮮人強制連行研究における「労働力不足説」「労働力充足説」の検討
鄭祐宗 48

■調査報告
マニラのホームレス——仕事・貧困・家族 青木秀男 66

■書評と紹介
立花雄一著『隠蔽された女米騒動の真相』 石坂悦男 83
宮島喬著『外国人の子どもの教育』 池上重弘 87

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所 92
月例研究会 107
所報 2015年9月

発行／法政大学大原社会問題研究所
発売所／法政大学出版局 3330-55001-7710
〒102-0073 東京都千代田区富士見2-17-1
TEL 03(5214)5540
郵便振替口座 00160-6-95814

一年間に起きた社会・労働分野の変化と
課題がわかる貴重なデータブック

最新2015年版 第85集

日本労働年鑑

法政大学 大原社会問題研究所 編

——おもな内容——

序章 政治・経済の動向と労働問題の焦点
《特集1》 労働市場のジェンダー構造
——男女雇用機会均等法
成立30年の現状

《特集2》 生活保護法改正と
生活困窮者自立支援法

第1部 労働経済と労働者生活
第2部 経営労務と労使関係
第3部 労働組合の組織と運動
第4部 労働組合と政治・社会運動
第5部 労働・社会政策

《付録》 労働組合の現状／労働組合名簿／統計・事項索引／年表

ハーバード大学歴史学部教授(日本近現代史、労働史)

アンドルー・ゴードン

『日本労働年鑑』は、日本の社会、政治、社会政策の現在と過去の変容に関心のある人にとって貴重な情報源となります。過去50年で、おそらく今日ほど労働問題とそこから派生する経済、教育、社会福祉、社会運動の諸分野の課題が多くの人々の関心と呼んでいる時期はありません。私がこれらの問題について調べるとき、バランスのとれた詳しい情報源として最初に参照するのは『日本労働年鑑』です。

推薦します

本年鑑5つの特徴

- ①その年に起きた社会・労働分野の変化や問題、課題を正確に記録、解説。「特集」と「5つの基本テーマ」で構成、収録。
- ②特に重要なテーマについては、「特集」でさらに深く詳しく解説。
- ③政治・経済・経営・社会保障などの視点からも論述。
- ④理解が深まる豊富な図表とグラフ。
- ⑤社会全体の動きやポイントになる出来事を6つの分野に分けて「年表」で巻末に収録。



本体15,000円+税
A5判・上製・504頁

旬報社 〒112-0015 東京都文京区目白台2-14-13
電話(03)3943-9911 FAX(03)3943-8396 http://www.junposha.com/

日本労働研究雑誌

No. 666 2016年1月号

定価 852円+税 年間購読 11,040円(税込)

特集:「サービス産業の雇用と労働」

提言 サービス労働の再認識を 杉村 芳美

論文 サービス産業の拡大と雇用 飯盛 信男
サービス産業化に伴う労働時間をめぐる問題と労働時間規制 浅野 高宏
サービス産業の生産性と労働市場 森川 正之
サービス産業化がもたらす働き方の変化——「仕事の質」に注目して 長松奈美江
サービス業に求められる能力、適性、意識、行動
——「5万人の就業者Web職業動向調査」のデータより 松本 真作
映像プロデューサーの働き方とキャリア開発 山下 勝

労働政策の展望 ワークライフバランスの進め方——看護師労働の事例からその進化を考える 西村 周三

書評 石田淳著『相対的剝奪の社会学——不平等と意識のパラドックス』 籠谷 和弘
論文Today 「男性リーダーと女性リーダーとは、同じリーダーシップスタイルを発揮しても、その効果は異なるのだろうか?」 勝村 史昭
フィールド・アイ ゼロアワー・コントラクト&ロンドン日系企業の人材マネジメント(英国から②) 八代 充史

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

〒177-8502 東京都練馬区上石神井4-8-23

☎ 03-5903-6255

Digest of Science of Labour

労働の科学12

2015. December

第70巻第12号

定価1,100円・年間予約12,000円
送料86円

●特集／外国人労働者受入れのあり方

◆外国人労働者の現状と共に働き生きるための課題 高谷 幸◆韓国における外国人労働者「雇用許可制」と支援システム——日本の受入れ政策に示唆すること 佐野孝治◆移住労働者と連帯して人権を守るこの意味 渡辺英俊◆外国人技能実習制度の廃止と労働者として受け入れる制度設計を 大坂恭子◆外国人労働者の健康問題の背景にあること——医療の現場から 沢田貴志

◆難病患者の治療と仕事の両立支援を考える・8 障がい者(難病患者)雇用のために企業が考えていること、取り組んでいること……………大濱 徹

◆労働を科学する・9 作業の安全と熟練技能(2)……………肝付邦憲

◆労研アーカイブを読む・19 労働科学への旅(17)……………毛利一平

◆につぼん仕事唄考・27 炭鉱仕事が生んだ唄たち(27) 閉山へ捧げられた挽歌たち・3……………前田和男

◆深読みILO安全衛生国際基準・21 ……川上 剛



公益財団法人 大原記念労働科学研究所

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-1-12桜美林大学内3F 電話 03(6447)1435 振替 00100-8-131861